

農学委員会・食料科学委員会 農芸化学分科会
(第25期・第4回) 議事要旨

日時：2022(令和4)年5月23日(月) 17:00-

場所：ビデオ会議 (Zoom ウェブ開催)

出席者：熊谷日登美、稲垣賢二、岡村好子、倉田のり、河内孝之、清水誠
千葉一裕、東原和成、西山真、丸山明子、村中俊哉、山下まり、吉永直子
欠席者：近藤昭彦、稲葉靖子、竹中麻子

1. 前回議事要旨の確認

熊谷委員長から、第25期第3回議事録について説明があり、承認された。

2. シンポジウムの報告について

資料を基に、第一回「食を通して全ての人に健康を」(2021年9月14日開催)、第二回「地球と生命をつなぐ高度な化学物質ネットワーク：天然物化学再考」(2021年12月8日開催)について、熊谷委員長と東原委員より開催報告があった。

3. サイエンスカフェの報告

「サイエンスカフェ in 福島」(令和3年12月5日(日)開催)について山下委員から報告があった。「サイエンスカフェ in 東京」(令和3年12月18日(土)開催)について熊谷委員長から報告があった。「サイエンスカフェ in 福岡」(2021年12月25日(水)開催)について丸山委員から報告があった。

4. シンポジウムの計画について

2022年度webinar開催予定の応用微生物・生物工学チーム担当のシンポジウム「微生物や微生物菌叢への革新的機能付与・機能制御の新展開」について西山委員より説明があった。ジェンダーバランスに配慮したことが報告された。植物科学チームの村中委員より、シンポジウム「植物科学からサステイナブルな農業生産・ものづくりへ(仮題)」の内容についての説明があり、植物科学分科会と共同開催でハイブリッドで開催予定と

の報告があった。ここで西山委員と東原委員から、農芸化学会と本分科会との関係に関して問題提起され、清水委員から分科会の設置の歴史的経緯の説明があり、議論された。本シンポジウムシリーズでは農芸化学会会長に毎回挨拶をいただくが、農芸化学会と本分科会が今後お互いに良い関係を継続することが重要であることが確認された。熊谷委員長より、学術会議としては学協会との連携は強める方向性であり、他の学会との連携を図ることも重要であるとのコメントがあった。

5. サイエンスカフェの計画について

「サイエンスカフェ in 高知」（2022年10月2日（日）開催予定）について稲垣委員より説明があった。

6. 意思の表出の作成手続きの変更について

熊谷委員長より、学術会議における意思表出の仕方の見直しについて、資料に基づいて、手続きのフローチャートの説明があった。各委員会から2名以上の査読委員を出すことになり、清水委員が別分科会から、農芸化学分科会からは倉田のり先生に出ていただくこととなった。

次回分科会の開催は植物科学のシンポジウムが終わった頃